

# 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

## ひたむきな信仰心が生んだ、長崎とキリスト教の壮大な物語

長崎は、いち早く海外に港を開き、異国の文化であるキリスト教を受け入れた街。そこには、禁教令、鎖国など、幕府の政策の中で既存の社会・宗教と共生しつつ密かに信仰を守り抜いた人々がいました。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、その独特の文化的伝統を物語っています。

### 五島列島の関連遺産

長崎市の西方沖に浮かぶ大小140もの島々から成り立つ五島列島には、世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産が数多く点在しています。五島うどんや五島牛などの島グルメ探訪もおすすめです。



#### 〈世界遺産候補〉

##### 野崎島の集落跡 (旧野首教会)

禁教期に移住した潜伏キリシタンが、表向きは海上交通の守り神である沖ノ神嶋神社の氏子を装うことで在来宗教と並存しながら自分たち自身で組織的に信仰を続けた。解禁後はカトリックへ復帰し、禁教期に宗教儀礼を司った女性指導者の屋敷の側に教会堂を建てた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。



#### 〈世界遺産候補〉

##### 頭ヶ島の集落 (頭ヶ島天主堂)

禁教期に海外の潜伏キリシタンが、仏教徒の開拓指導者のもと、無人島に移住・開拓し、自分たち自身で組織的に信仰を続けた。解禁後、カトリックへ復帰し、海に近い谷間の奥にある仮御堂跡に自分たちの教会堂を建てた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。



#### 〈世界遺産候補〉

##### 奈留島の江上集落 (江上天主堂とその周辺)

禁教期に海外の潜伏キリシタンが、海に近い谷間に開けたわずかな平地に移住して固有の信仰形態を続けた。解禁後はカトリックに復帰し、禁教期以来の指導者の屋敷を家御堂としていたが、やがて、湧水があり防風に優れた場所に木造の教会堂が建てられた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。



#### 〈世界遺産候補〉

##### 久賀島の集落 (旧五輪教会堂)

禁教期に海外から移住した潜伏キリシタンが、仏教集落と互助関係を築きながら自分たちで組織的に信仰を続け、「信徒発見」後の厳しい弾圧を乗り越えてカトリックへ復帰し、海辺に教会堂を建ててに至った。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。

※写真撮影・掲載に当たっては大司教区の許可をいただいています。

### 教会見学時のマナー CHURCH TOUR MANNERS

- ◎教会内では脱帽し、極端に肌を露出した服装を避け、静かにしてください。
  - ◎飲食、喫煙、飲酒は厳禁です。また、教会内にある物には触れないでください。
  - ◎柵内、内陣(祭壇)は、特に神聖な場所ですので絶対に入らないでください。
  - ◎教会内での写真撮影は禁止です。
  - ◎お帰りの際には、電気を消し、扉を開けてください。
  - ◎ミサ、冠婚葬祭時には教会内の見学をお断りする場合があります。
  - ◎教会のトイレは信者さんのためのものです。できるだけ教会以外のトイレをご利用ください。
- 見学させて頂いた感謝の気持ちを捧げたい方は、献金箱に寄附されてはいかがでしょうか。  
※皆さまの寄附は、清掃などの維持管理に生かされます。